

## 2.5 分析対象種の確認状況の経年比較

### 分析対象種の確認状況の経年比較（その1）

凡例 ◎●：確認、×：未確認、-：河川環境データベースに調査データが未格納（薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。）

注1) 1~4巡回調査のデータは、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象とした。  
注2) 調査の継続性の観点から、経年比較のとりまとめ対象は一級河川の直轄区間とし、指定区間および二級水系は対象外とした。

調査の統合性の観点から、経年比収載の「よくの」対象は、一部例川町の面積割合に亘り、「指定区域における二級小字表示」は対象が变成了。

(注3) 1～3巡回調査の区分について、原則として1巡回調査、半成3～7年度、2巡回調査、半成8～12年度、3巡回調査、半成13～17年度、4巡回調査、半成18～22年度、5巡回調査、半成23～27年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区分を調整した。甘利直・筑口一郎(1997)による兵庫県の巡回区分は明瞭、実施中止の例もある。

## 分析対象種の確認状況の経年比較（その2）

凡例 ◎●：確認、×：未確認、-：河川環境データベースに調査データが未格納

(薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。)

注1) 1~4 巡目調査のデータは、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象とした。

注2) 調査の継続性の観点から、経年比較のとりまとめ対象は一級河川の直轄区間とし、指定区間および二级水系は対象外とした。

注3) 1～5 巡回調査の区分については、原則として1巡回調査：平成3～7年度、2巡回調査：平成8～12年度、3巡回調査：平成13～17年度、4巡回調査：平成18～22年度、5巡回調査：平成23～27年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡回の区切りは調査実施年度の欄に記した。